

【食品表示活用研究会 2020 年度活動報告】

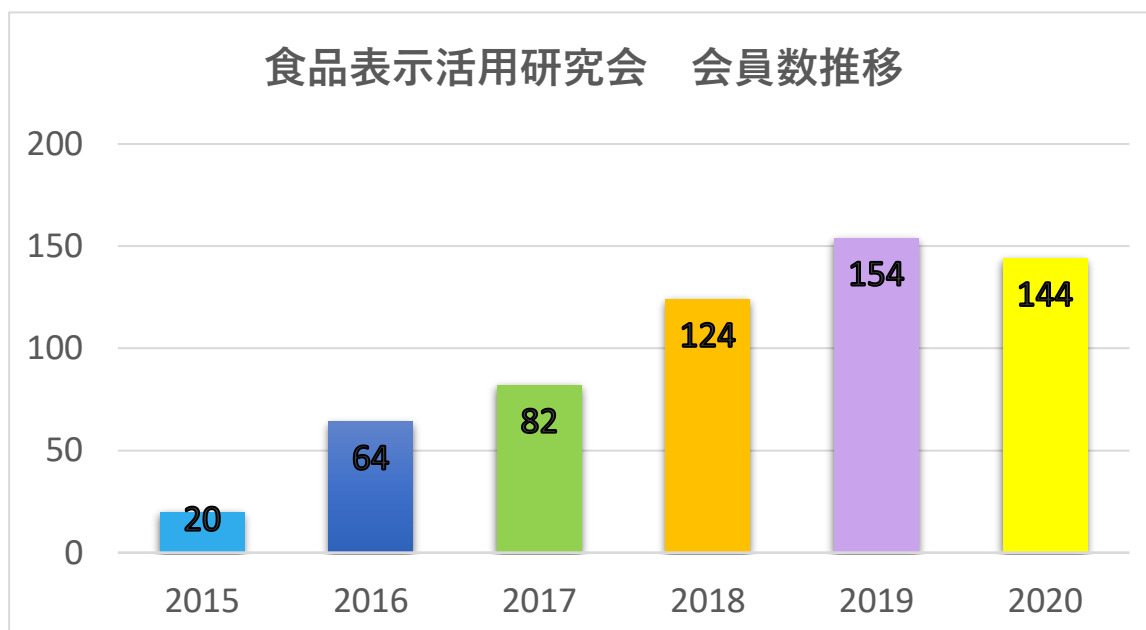
<食品表示活用研究会とは>

（一社）食品表示検定協会の上級検定試験で合格された「上級食品表示診断士」の皆様が参加できる「上級合格者の会」の会員を母体とした食品表示を研究する会です。「上級合格者の会」の皆様から会員を募り食品表示をより良く理解し、仕事と実務・生活に活用しています。

2015 年 7 月に研究会の前身となる「食品表示診断士勉強会」を発足し、食品表示の認知度アップと作成レベルの向上を図りました。翌 2016 年 4 月から「食品表示活用研究会」として正式に発足しました。

研究会員は毎年増加し、2019 年度は 154 名の会員となりましたが、コロナ禍となった 2020 年度は、144 名と若干の減少を示したものの全国からたくさんの方々が会員となりました。

会の運営は研究会の有志を募った「世話人」で企画・運営を行って、活発な活動を行っています。



<食品表示活用研究会の目的>

食品表示活用研究会は、研究会会員の自主的な活動で運営されています。

本会は

- ・有識者等を招いての食品表示に関する理解の向上
- ・会員同士の情報交換の促進による課題解決
- ・消費者への食品表示ルール理解・促進
- ・食品表示に関する調査研究の実施

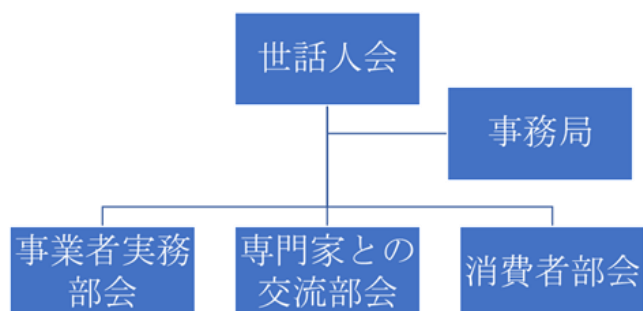
を中心にわが国の食品表示制度の正しい理解と円滑な運営に寄与することを目的としています。

<食品表示活用研究会 2020 年度の活動>

●2020 年度：会員数：144 名 （うち世話人：12 名）

研究会の組織は、世話人会を中心に企画・運営を行います。会員は、3つの部会のいずれかに参加する部会員か、特定の部会に属さず年2回の全体会議に参加する全体部会員の2つのコースに分かれます。3部会では担当する世話人がマネジメントします。

また食品表示検定協会は事務局として研究会の活動をバックアップします。



●2020 年度：食品表示活用研究会 世話人 12 名 （敬称略）

2020 年 3 月時点

参加者名	部会	所属企業・団体
天明 英之	会長	フード・オフィス・天明
岡本 美穂	専門家との交流部会	国分グループ本社株式会社
古字 朗人	専門家との交流部会	SOMPO リスクマネジメント株式会社
野口 忠司	専門家との交流部会	農園「花囲夢」
高山 大介	消費者部会	エスビー食品株式会社
神志那武史	消費者部会	デリア食品株式会社
鈴木 美樹	消費者部会	消費者庁消費者安全課（現・日清食品 HD(株)）
中嶋麻衣子	消費者部会	株式会社ゼンショーホールディングス
大西 由美	事業者実務部会	株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所
小川 直人	事業者実務部会	日清食品ホールディングス株式会社
川東 秀規	事業者実務部会	株式会社 BML フード・サイエンス
長橋 宏明	事業者実務部会	ベーカー&マッケンジー法律事務所

●2020 年度の活動に関して

新型コロナウイルスがまん延するなかで、食品活用研究会は例年のない運営体制で臨みました。

1. 緊急事態宣言の発出などで、研究会の会合が3か月遅れました。その結果、2020 年度の活動は通常各部会3回を目標としていますが、今年は2回となりました。

2. 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しました。

- ・集合活動のための安全対策に万全を尽くしました。

＝事前アンケート、検温、マスク着用、アルコール消毒、ソーシャルディスタンスの徹底など＝

- ・会場参加できない方へ WEB 会合での開催を図りました。

＝ZOOM などの WEB での参加を促進し、遠隔地からの参加も容易にしました。＝

●部会の活動

研究会は、2020 年度は 3 つの部会と全体会議でそれぞれ活動を行い、活発な意見交換、啓発活動および専門家による知見の深耕を行いました。

部会名	活動内容	部員数
事業者実務部会	食品表示の実務に関わる方が集まり、食品表示に関する悩みの共有・解決に向け様々な意見交換や討議を行いお互いの知識や知恵を高め合いながら、企業の壁を越えた会員同士の交流を図ります。本部会は食品表示業務にかかわる最前線の皆様と、セミクローズな環境下でリアルなお話や交流が出来る稀有な運用となっております。	36 名
専門家との交流部会	食品表示に関わる専門家の講演を通して食品表示を行う際の注意点、配慮すべき事項、その表示の背景等、食品表示についての理解を深めます。また事前アンケート等による質疑応答の時間も設けます。 昨年実施内容：添加物表示、原料原産地表示、栄養成分表示	51 名
消費者部会	消費者との交流を通して、食品表示を理解するために必要な基本的な知識の習得を促す活動を行います。今年度は次の 2 つの活動を行いました。 (1) 専門家による「消費者視点からの食品表示」の講演およびグループディスカッションによる学習。 (2) 昨年度までの消費者部会で作成した「消費者が食品表示を読み説くための解説書」を活用し、食品表示に関する消費者との意見交換会の開催。	20 名
全体部会	3 つの部会に所属せず、年 2 回の全体会議に参加できる会員。仕事で忙しい方、遠隔地の方などの会員が多い。	37 名

* 部員数は担当世話人も含みます。なお、会長は全体の運営を監督し、担当はありません。

* 食品表示活用研究会の会員には部会に所属しない会員、全体部会員 37 名が含まれます。

●各部会の活動

	事業者実務部会	専門家との交流部会	消費者部会
第1回	2020年11月24日（火）	2020年11月9日（月）	2020年11月18日（水）
テーマ 講師	①「小規模事業者の適正表示への取り組みについて」 武相ラボ BUSOLOB 中浜 俊弥氏 ②アンケート調査による表示ミス事例・防止対策に関して」	「食品表示添加物の表示～まとめ～」 （一社）日本食品添加物協会 等々力 博志氏	「消費者（利用する側）から見た食品表示に関する一考察」 （公社）日本消費アドバイザー・コンサルタント・相談員 専門委員 蒲生恵美氏
会場	大田区入新井集会室+WEB	大田区入新井集会室+WEB	大田区消費生活センター+WEB
第2回	2021年2月22日（月）	2021年3月2日（火）	2012年3月26日（金）
テーマ 講師	「商品開発・表示義務におけるデータ・システムの活用」 株式会社クニエ 西村友里氏	「食品表示における栄養学の位置づけと考え方」 東京大学大学院医学系研究科 社会予防疫学分野 教授 佐々木 敏氏	東京農大オープンカレッジ 「意外と知らない食品表示」 一般消費者との直接コミュニケーションする農大のオープンカレッジでの講座
会場	WEB 開催	日比谷図書館会議室+WEB	オープンカレッジ+WEB

●研究会全体の活動（会員のうち、希望者は全員参加可能）

開催日	2021年1月8日（金）
テーマ	<消費者庁との意見交換会> 於）ビジョンセンター永田町+WEB 会議 ① 食品添加物表示、②アレルギー表示、③今後の課題 ④事前質疑回答 ・消費者庁食品表示企画課 高橋 亨氏ほか
開催日	2021年3月15日（月）
テーマ	<3部会合同成果発表会> 於）ビジョンセンター永田町+WEB 会議 ① 3部会の2020年度の活動概要の発表 ② 「食品表示法、景品表示法、健康増進法 法律を遵守するため食品表示事業者として実践すべきこと」講師 消費者庁表示対策課 田中 誠氏

●その他の活動

1. 活動状況の共有のためのメールマガジン5回発信
2. 消費者庁委託事業への協力
3. アトピッ子地球の子ネットワークへの協力



○ソーシャルディスタンスでコロナ対策を徹底した通常会合（事業者実務部会 第1回会合）



○年一回の3部会合同発表会では、コロナ禍でもWEBで多数の参加があり、ゲストスピーカーの消費者庁担当者との情報交換も盛況に開催された。（3部会合同成果発表会）



○消費者と直接コミュニケーションを交わし、分かりやすい食品表示を目指した。
(消費者部会 第2回会合)